

『理数科サイエンスコース課題研究発表会』.....

本校理数科では、『課題研究』を教育活動のひとつの柱として実施しています。『課題研究』に取り組むことを通して、《自ら課題を設定し、その解決に向けて努力する》《仲間と協力し課題の解決を図る》《研究の成果をまとめ、発表する》などの力を育むことを目指しています。

1年生では、『理数特別実験』と『課題研究基礎』で、実験の手法や研究の基礎について学びます。2年生になると、同じ分野に興味をもつ生徒でグループを作り、各グループでテーマを決め、約1年をかけて研究を行います。そして、その研究成果を3年生の4月に発表します。

本年度は、4月18日（土）に長岡技術科学大学を会場に発表会を開催しました。物理分野6件、化学分野3件、生物分野3件、地学分野1件、数学分野2件の、合計15件の発表を行いました。当日は、多くの保護者の方からご来場いただきました。どうもありがとうございました。

本校は、長岡技術科学大学と様々な分野で連携しています。『課題研究』に対して、大学の先生からアドバイスを受たり、大学の施設設備を使用させてもらうこともあります。そして、この『課題研究発表会』では「学長奨励賞」という賞をいただいています。本年度は下記の4つの研究に対して「学長奨励賞」が贈られました。

- 『光に対するクズの反応』
- 『淡水生シジミの水質浄化作用について』
- 『ビスケットの割れ方を調べる』
- 『一般化三並への発展的研究』

発表の要旨集を本校のホームページに掲載しています。ご覧ください。



発表のようす：400超の人を前にして発表します



質問する生徒：活発な質疑応答が行われました



大学の先生からの質問もありました



ポスターセッション：来場者にポスターを使って研究を説明します



実験装置を持ち込んだグループもあります



表彰式：長岡技術科学大学の城所先生より表彰していただきました